

地本業務ニュース

JR 東海 労・静岡 地方本部

NO.8 2019年 6月28日 発行者：JR東海 静岡地方本部 半場弘恭

5月26日島田駅留置線で発生した車両部品盗難事象について本日支社にて申第9号「島田駅留置線における車両部品盗難等について」（5月29日付け）に基づき業務委員会を開催した。

島田駅留置線で発生した車両部品盗難における 会社のセキュリティーに対する考えを質す

組合：今回の盗難の事象を時系列に沿って明らかにすること。

会社：4時7分頃島田駅にて構内巡回中の全日警社員より、下り4番線留置車両の乗務員室扉が開いているとの連絡があり運転士が確認した結果、運転台の一部機器がないことが判明した。その後島田駅留置の全車両の確認を行い、422Mでは主幹制御器、回5723Mで行先表示器の盗難が判明し警察による検分を実施、5編成中1本を運転休止とした。又回5723Mはその後の運用にて11時50分頃静岡駅での3両編成の分割時に中間運転台の車掌スイッチとATS警報機がない事が判明し静岡～島田間を運転休止とした。

組合：会社の再発防止対策を明らかにすること

会社：本件を受け関係者に対しての注意喚起、夜間巡回強化、留置車両扉・周辺フェンス等への「防犯カメラ動作中」の掲出およびホーム照明の夜間全灯等を実施しており引き続き必要な対策を検討実施していく。

組合：関連警備会社を活用した車両留置箇所・施設の警備を強化すること。

会社：警備会社等による夜間巡回をすでに実施しているところであるが、引き続き必要な対策を検討実施していく。

組合：車両留置箇所・施設の侵入防止用フェンスを強化すること。

会社：セキュリティーの観点から、引き続き必要な対策を検討実施していく。

組合：車両および留置施設等の鍵をセキュリティーの高いものに変えること。

会社：セキュリティーの観点から、引き続き必要な対策を検討実施していく。

組合：犯人は捕まっていないが、警察からは報告はあるのか、

会社：警察からは連絡はないが、協力要請があれば協力していく。

組合：マスターキー、いわゆる忍錠で車両に侵入しているが鍵等新しい物に変えてはいかないのか

会社：必要な対策等は引き続き検討していく。

組合：山北駅電留線には防犯カメラのような物が設置されているが、その他の駅電留線等にも設置し、防護フェンスの強化をされたい。

会社：セキュリティー上のことは言えないが引き続き必要な対策は実施していく。

組合：警備会社による巡回の時間の間隔を短くし、回数を増やし警備の強化を図ること。防犯カメラ・防護フェンスの整備を急ぐこと。

以上